

八代市議会会派 有志の会

海外行政視察復命書（視察結果報告書）

■視察期日

2024年8月6日（火） ～ 8月8日（木）

■主な視察先

基隆市政府 8月7日（水）

高雄市政府 8月8日（木）

高雄港クルーズターミナル 8月8日（木）

■視察目的

基隆市では、基隆市政府要人との会談。

高雄市では、高雄市政府青年局の視察、高雄港クルーズターミナルの整備状況調査を目的といたしました。

■視察参加者

議員 山本 敬晃

基隆市政府

1 視察日 2024年8月7日(水)

2 調査事項

① 基隆市政府要人との会談

基隆市と本市との今後の交流や経済、文化面を含めた更なる連携強化に向けた意見交換を行い、友好関係の深化を図るものである。



高雄市政府、高雄港クルーズターミナル

1 視察日 2024年8月8日(木)

2 調査事項

① 高雄市政府青年局

高雄市政府青年局は青年の起業や就職支援を主な業務としており、現在、台湾の6都市にある青年局のなかで、7年前にできた桃園市の青年局に次、2番目にできた青年局である。本市でも重要となる青年の起業、就職支援のための施策について調査するものである。

② 高雄港クルーズターミナル

高雄港クルーズターミナルが建設されたことで、高雄にはこれまでの蓬莱クルーズターミナルと並んで、2つのクルーズターミナルができた。本市におけるクルーズ客の更なる誘客の参考とするため、高雄港クルーズターミナルの整備状況を調査するものである。

高雄市政府青年局



高雄港クルーズターミナル



令和6年度 海外行政視察所見

議員名 【 山本 敬晃 】

- ◆視察日：令和6年8月6日（火）～8日（木）
- ◆視察先：台湾
- ◆調査項目：基隆市政府要人との会談
 - 基隆市内視察
 - 高雄市政府青年局による産業振興の現況調査
 - 高雄港クルーズターミナルの整備状況調査

本視察では、本市と友好交流協定を締結している基隆市と、本市同様、クルーズ船の旅客ターミナルを有する高雄市を訪問した。

基隆市では基隆市政府を訪問し、謝國樑市長と会談する機会を得た。会談には、民政部の張淵翔部長、産業発展部の林鼎超部長、文化観光局の江亭玫局長にも同席いただいた。会談では、基隆市の課題とその解決のために取り組んでいる施策や本市との友好交流協定に基づくこれまでの交流とこれからの展望について、忌憚のない意見交換ができた。基隆港に到着したクルーズ船の旅客が基隆ではなく台北市まで観光に行ってしまうことや台北市で工業用地として使える土地がなくなってきたので台北市と接している地理的条件を活かし企業誘致を進めているといった点は本市にも共通する課題といえる。こういった課題解決のため、基隆市では水上バイクアクティ

ビティや音楽フェスの開催等による誘客を進めているとのこと。また、市長自身もこれまでに培われた人脈を活かし、企業誘致や基隆の高校生の教育プログラムの導入などに取り組んでいらっしゃるとのことであった。最後に、今後も、相互に交流していくことで、両市の更なる発展につなげていくことを確認することができ、大変実りのある会談となった。

高雄市では、今回の高雄港クルーズターミナルの視察を調整いただいた青年局を訪問した。高雄市政府青年局は青年の起業や就職支援を主な業務としており、現在、台湾の6都市にある青年局のなかで、7年前にできた桃園市の青年局に次、2番目にできた青年局である。高雄市の青年局のオフィスにはYouTubeやポッドキャスト制作のためのスタジオがあり、これらは無料で使用できるため、約6割の時間帯がいつも予約で埋まっているそうである。また、イベントスペースもあり、こちらでは、マーケティングや動画作成に関する講座などが開講されている。最近では、AIの発展が目覚ましいので、AI関連の有名企業であるエヌビディアによる講座もあり、定員を超える申し込みがあるとのことであった。青年局のオフィスを案内いただいたあとで、張以理局長と面会した。張局長とは経歴や

年齢が近いこともあり、意気投合し、意見交換も大変和やかな雰囲気で行うことができた。本市でも、青年の起業、就職支援は大変重要であるので、今後とも情報交換をしながら、交流を深めていきたいと思う。

最後に、高雄港クルーズターミナルを訪問した。高雄港ではクルーズターミナルのサービス向上のため、新しいクルーズターミナルを建設された。最大 25 万トンのクルーズ寄港を可能にし、高雄港を台湾南部における母港として発展することを期待してのことである。高雄港クルーズターミナルが建設されたことで、高雄にはこれまでの蓬萊クルーズターミナルと並んで、2 つのクルーズターミナルができた。新しい高雄港クルーズターミナルでは 22 台の入管カウンターと 4 台の E-GATE が設置され、一時間で母港 2 1 0 0 人、トランジット 3 5 0 0 人の対応が可能ということである。高雄港周辺にはハーバーブリッジや KW 2、85 階スカイビルタワーや高雄流行音楽センターといった観光名所が多くあり、クルーズ客を呼び込める場所にあふれている。また、様々なアート作品が展示されており、芸術に触れることができるクルーズターミナルとしても楽しめる。ターミナル内の商業施設はこれからオープンしていくとの

ことであり、コロナ禍を乗り越え、今後ますます増加するであろうクルーズ客へのおもてなしにあふれた施設になることが期待される。本市も更なるクルーズ客の誘客に向けて、くまモンポートをはじめ、本市の魅力の向上に努めていく必要があると感じた。